

神戸新聞 2020年12月17日 木曜日 面名 朝一 14 1ページ

いちりき・りょう 1997年、宮城県出身。宋光復九段に入門し、2010年、夏季入段しプロ入り(11年度採用)。14年、第1回グロビスピス杯世界囲碁U-20優勝。16年、天元戦挑戦。17年、天元、王座戦挑戦。18年、棋聖、王座戦挑戦。20年、碁聖奪取。読みの速さを武器に精度の高い終盤力が持ち味。



一力遼新天元

碁聖の第46期天元戦5番勝負(神戸新聞社主催)の第5局が16日、徳島市の徳島グランヴィリオホテルで打たれ、午後4時48分、黒番の一力遼碁聖(23)が183手で井山裕太天元(31)に棋聖・名人・本因坊IIに中押し勝ちし、シリーズ通算3勝2敗で初めて天元を奪取した。

一力は今年8月の碁聖に続く二つ目の七大タイトル獲得で、初の二冠となり、九段昇段も果たした。また、井山との挑戦手合で6度目にして初めて勝利した。井山は史上初の天元6連覇を狙ったが、ならなかった。(溝田幸弘)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

# 一力 天元初奪取

## 碁聖 井山破り二冠

①記事から次の文章に書き込みましょう。

碁聖の第46期    5番勝負で、

黒番の    碁聖(23)が183

手で     天元(31)に中押し

勝ちし、シリーズ通算3勝2敗で初めて

天元を奪取した。

一力碁聖は今年8月の碁聖に続く二つ目の

七大タイトル獲得で、初の   となり、

昇段も果たした。

②感想を書きましょう。2枚目の記事(一力碁聖、

中央の攻防制す)も参考にしましょう。